

平成29年9月8日13時49分頃の中米の地震について

地震の概要

発生時刻：9月8日13時49分(日本時間)
(地震が発生した時刻)

マグニチュード：8.2

場所：中米（北緯14.9度、西経94.0度）

発震機構：北東-南西方向に張力軸を持つ正断層型(速報)

発生時刻、マグニチュード、場所は太平洋津波警報センター(PTWC)による。

○ 海外の津波の観測状況(8日15時22分現在)

<国・地域名>	<検潮所名>	<津波の高さ>
メキシコ	ブエルトアンヘル	0.3 m
メキシコ	ワウラ	0.7 m

○ 防災上の留意事項

この地震により北海道から沖縄県にかけての太平洋沿岸に若干の海面変動が予想されるため、気象庁は17時20分に津波予報を発表しました。

なお、気象庁では引き続き国内外の潮位変動の監視を行い、仮に、日本国内に被害の恐れのある津波が海外で観測された場合には、津波注意報等の発表の検討を開始し、その旨を「遠地震に関する情報」でお知らせします。

津波による被害が予想される場合には、日本への最も早い津波到達予想時刻の2時間前である明日(9日)午前2時頃に津波注意報等を発表します。

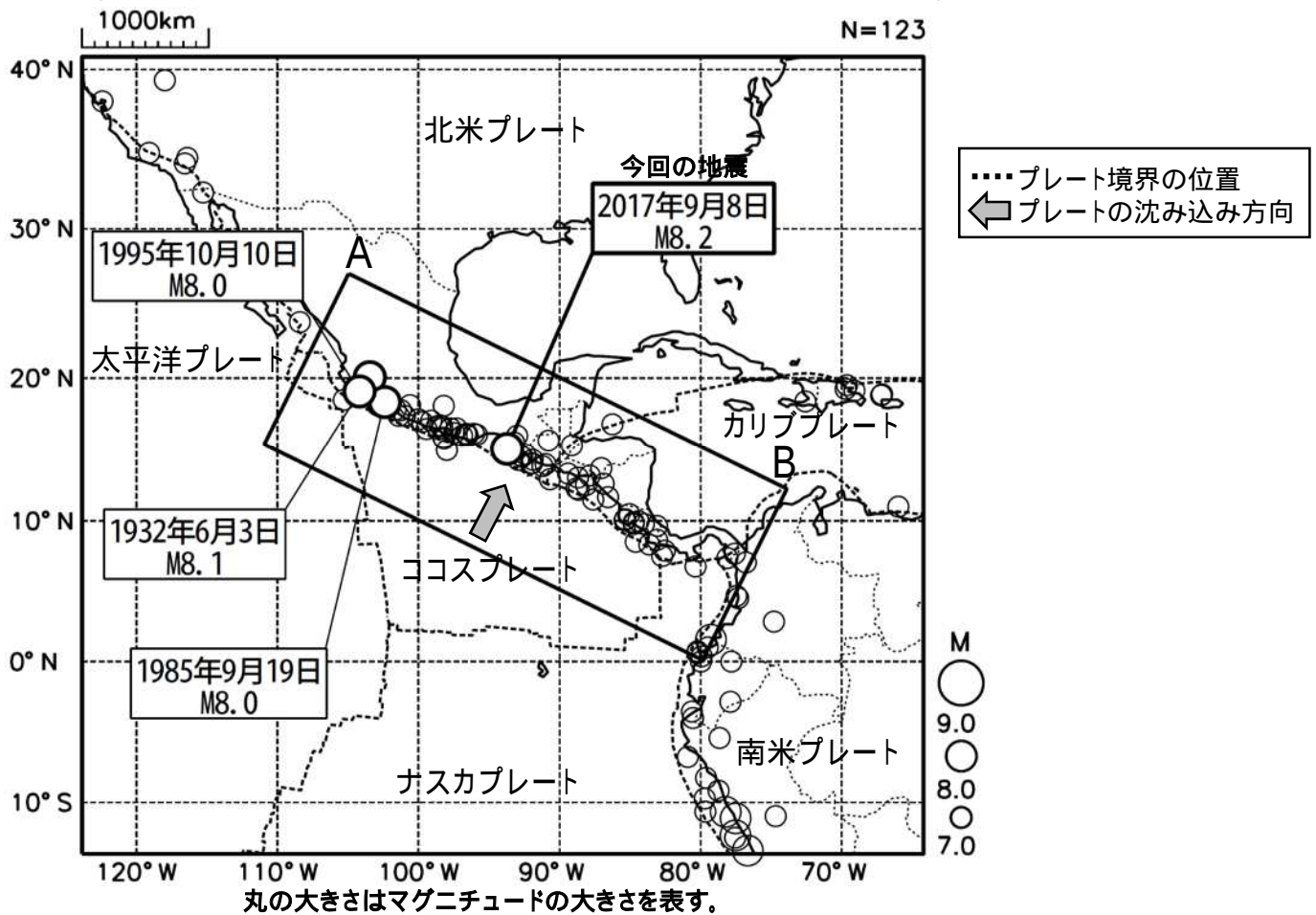
本件に関する問い合わせ先： 地震火山部地震津波監視課

03-3284-1743

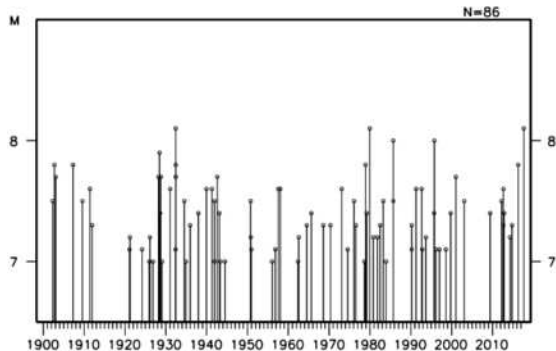
平成29年9月8日 メキシコ、チアパス州沖の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

(1900年1月1日～2017年9月8日15時、深さ0～100km、M7.0以上)

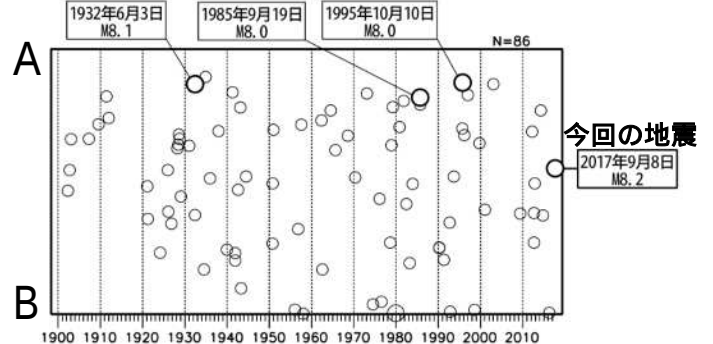


上図の四角形領域内の地震活動経過図



横軸は時間、縦軸はマグニチュード、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

上図の四角形領域内の時空間分布図



横軸は時間、丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す(上図同様)。

震源要素は1900年から2013年についてはISC-GEM、2014年以降については米国地質調査所(USGS)による。今回の地震の震源要素は太平洋津波警報センター(PTWC)による。

平成29年9月8日13時49分頃の地震の発震機構解 CMT解(速報)

北東 - 南西方向に張力軸を持つ正断層型

[CMT解(速報)]

Mw=8.1

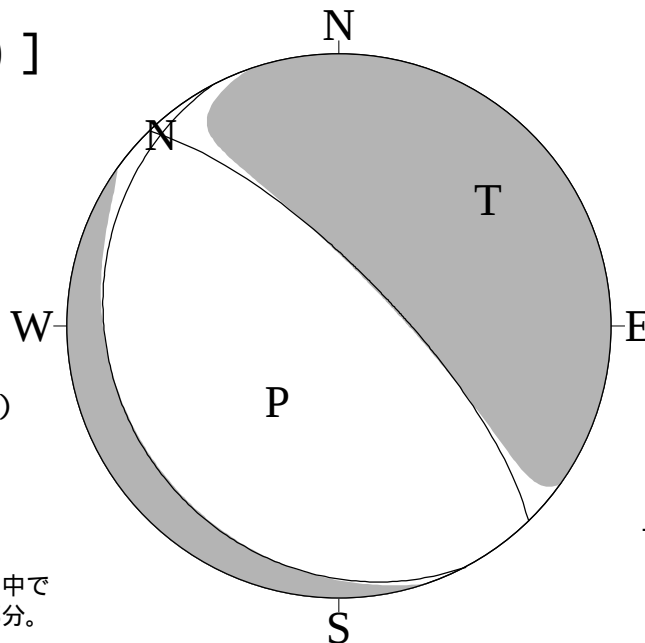
震源(セントロイド)

北緯 15度30分

西経 94度20分

深さ 約45km

セントロイドとは、
地震を起こした断層面の中で
地震動を最も放出した部分。



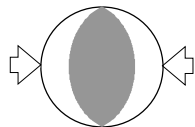
下半球等積投影法で描画

P : 圧力軸の方向

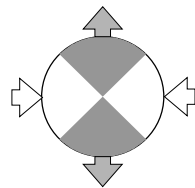
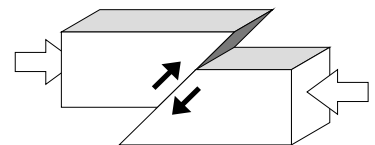
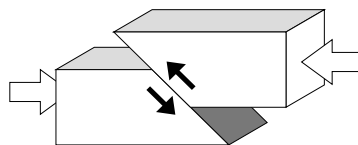
T : 張力軸の方向

発震機構解 [CMT解] について

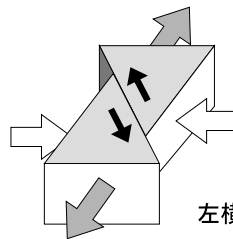
圧力軸に注目した場合の例



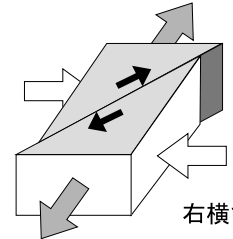
逆断層型



横ずれ断層型

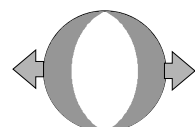


左横ずれ

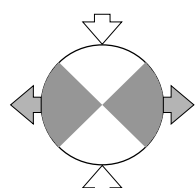
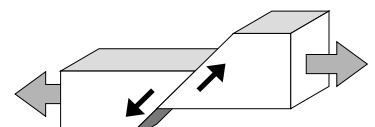
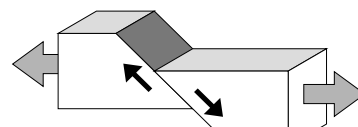


右横ずれ

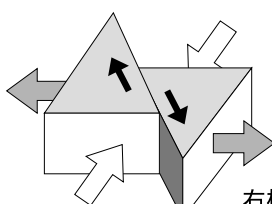
張力軸に注目した場合の例



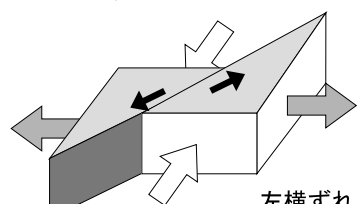
正断層型



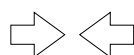
横ずれ断層型



右横ずれ



左横ずれ



圧力 (押す力)

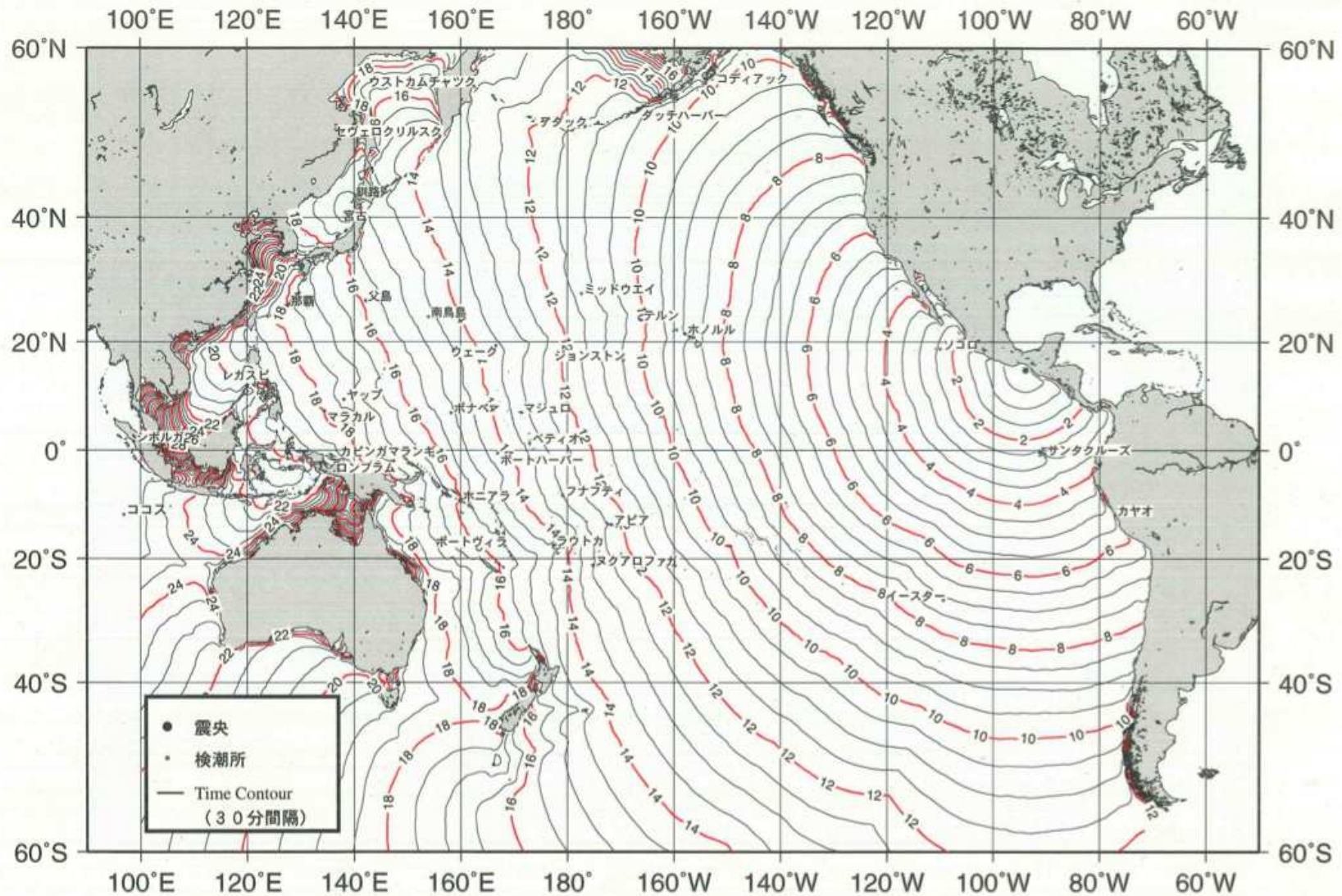


張力 (引く力)



断層がずれる方向

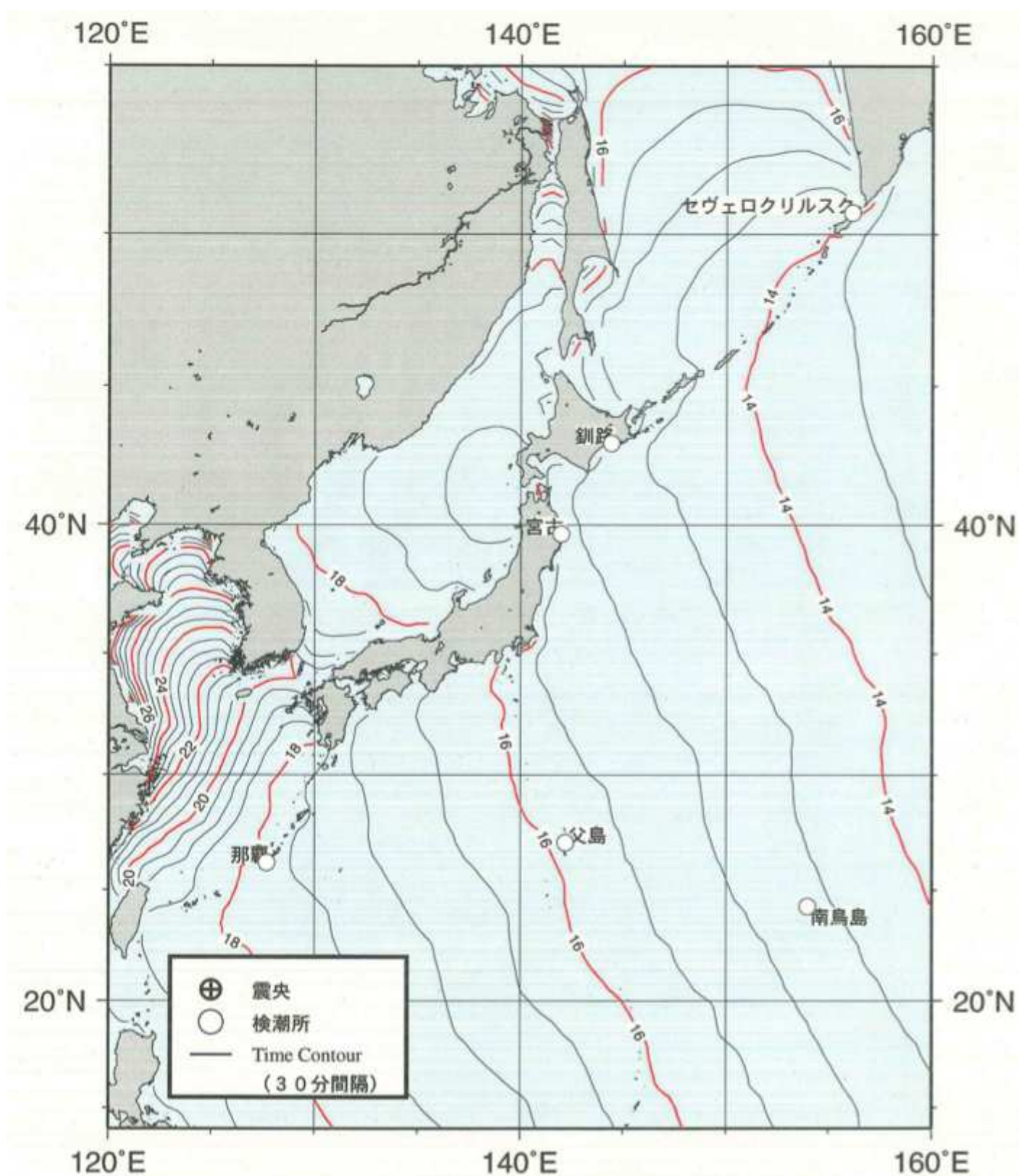
津波の到達予想図（伝播図[太平洋]）



数字は地震発生時刻からの経過時間

気象庁資料

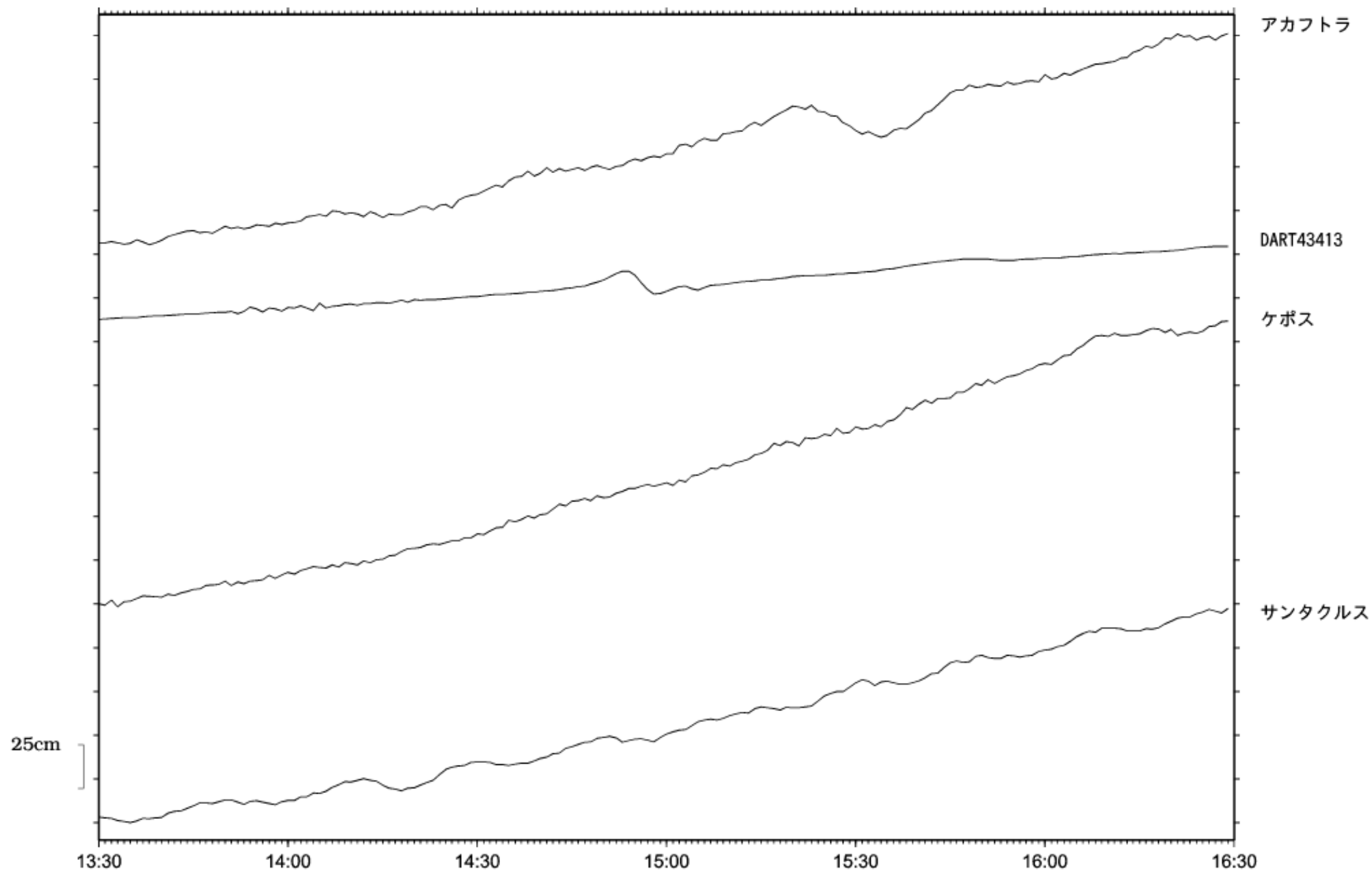
津波の到達予想図（伝播図[日本周辺]）



数字は地震発生時刻からの経過時間

気象庁資料

海外津波波形(2017年9月7日16時30分現在)



気象庁が津波監視に用いる海外観測地点（太平洋）

